SWINGDOOR CLEARWAY（スイングドア CW）取付及び取扱説明書　*2014/7/28 版*

1. 取り付け作業前の開口枠（扉取り付け枠）の確認

① 枠見込み寸法は Small Size（以下 S ｻｲｽﾞ）の場合には 100mm 以上，Large Size（以下 L ｻｲｽﾞ）の場合には 120mm 以上にしてください。

② 開口枠の上下枠側固定金物取り付け位置（図 1 参照）には，スチールの裏板を入れて補強をし，肉厚の合計が S ｻｲｽﾞについては 3.9mm 以上，L ｻｲｽﾞについては 4.6mm 以上にしてください。

③ 開口枠は開口幅寸法 W，開口高寸法 H（いずれも内法），および枠の水平，垂直角度をご確認の上設置してください。

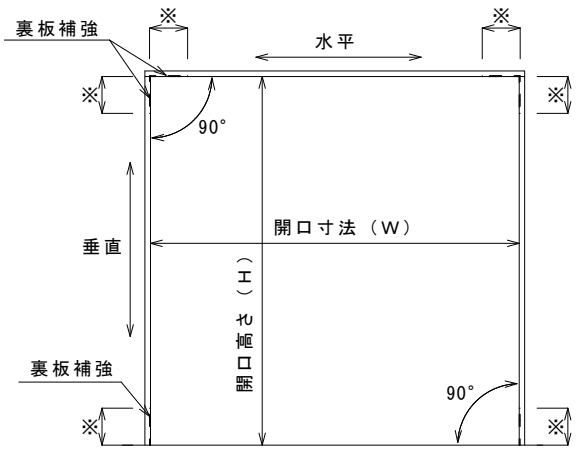

図 1

2. 上部固定金物の取り付け（図 2 参照）

① Sｻｲｽﾞは上枠側の金物取り付け穴位置 4 箇所に M6 のタップ加工を施し，六角穴付ボルト M6X25 で取り付けます。また，竪枠側の金物取り付け穴位置 4 箇所には M8 のタップ加工を施し，六角ボルト M8X20 で取り付けます。

② L ｻｲｽﾞは上枠側の金物取り付け穴位置 4 箇所に M8 のタップ加工を施し，六角穴付ボルト M8X25 で取り付けます。また，竪枠側の金物取り付け穴位置 6 箇所には M8 のタップ加工を施し，六角ボルト M8X20 で取り付けます。

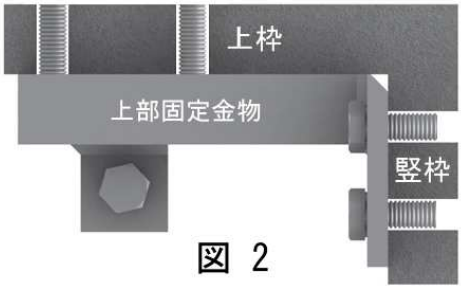

図 2

3. 下部固定プレートの取り付け

① 竪枠側の金物取り付け位置 4 箇所に M8 のタップ加工を施し，六角ボルト M8X20 で取り付けます。（図 5 参照）

② この際，上部固定金物の中心位置と下部固定プレートの中心位置とが同じになるように設置してください。（図 3 参照）

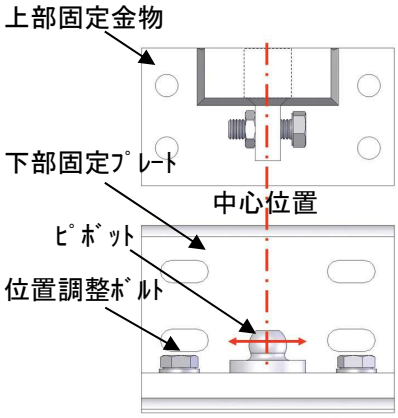

図 3

図 4

4. ドアの吊り込み

① ドアを吊り込む前にドア下部六角調整ボルトの穴に滑玉を挿入します。滑玉には挿入前にあらかじめ同梱のグリスを適宜塗布しておいてください。（図 4 参照）

② ドア下部六角調整ボルト下端部の穴を下部固定プレート上のピボットに差し込みます。（図 3,5 参照）
※この際①で挿入した滑玉が外れないように注意してください。

③ ドア上部ピンを上部固定金物のブッシュ（ベアリング）の位置に合わせ，ドア下部六角調整ボルトを時計回りに回転させることによって上部ピンをブッシュ（ベアリング）内に挿入します。（図 6,7 参照）

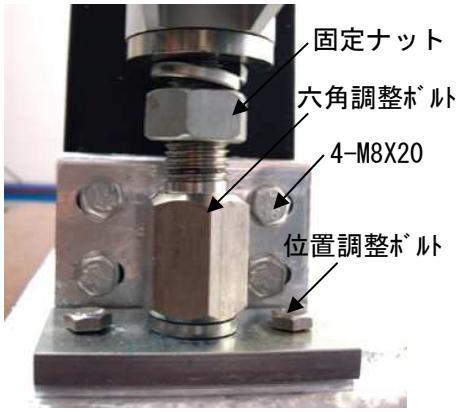

図 5

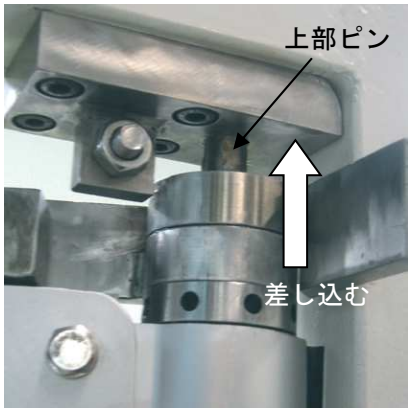

図 6

※取り付け作業は安全のため必ず2人以上で行なってください。

④ 六角調整ボルト上部の固定ナットを締め付け，さらに下部固定プレート上の位置調整ボルトを利用してドアが垂直になるように調整してください。(図 5,8 参照)

図 7

図 8

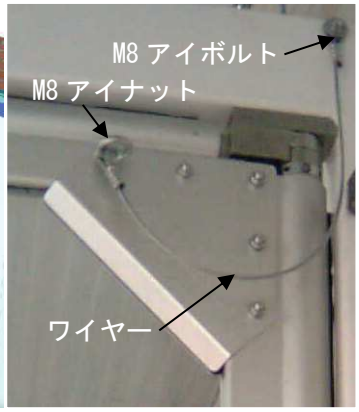

図 9

5. 転倒防止ワイヤーの取り付け

① 同梱の M8 アイボルトを枠若しくは壁の上部に取り付け，ワイヤーによってドア側の M8 アイナットと締結します。

6. トルク調整（ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞの巻き込み）

① ドアを少し開けた状態で保持し，ドア上部金物の穴の一つにロッド（S ｻｲｽﾞ：4.5φ，L ｻｲｽﾞ:8φ）を差し込みます。(図 10 参照)

② ①の状態のままピンをドライバー等(S ｻｲｽﾞは+ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ)を使って抜き取ります。(ピンの形状は，S ｻｲｽﾞはネジ式ですが，L ｻｲｽﾞは挿入式です。)

※ピンを抜いた状態で決してロッドを外さないように注意してください。故障の原因となります。

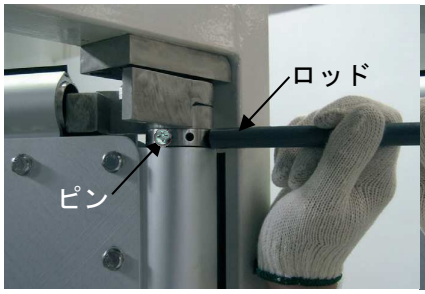

図 10

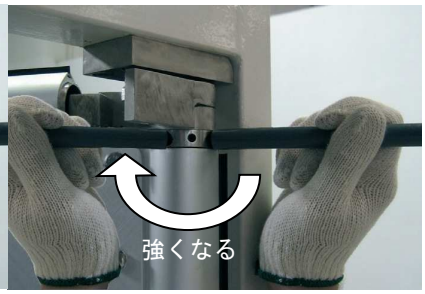

図 12

③ 空いている穴に他のロッドを差し込み，2 本のロッドを交互に抜き差ししながら上部金物を時計回りに回転させてｽﾌﾟﾘﾝｸﾞを巻き込みます。(図 12 参照)

※最初は半回転程させて自閉速度を確認し，その後適宜調整してください。

図 13

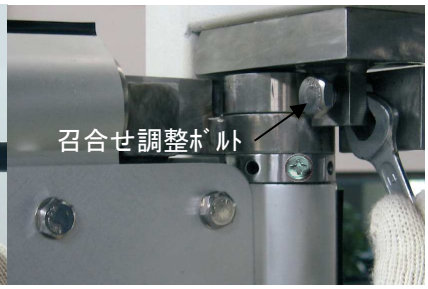

図 14

④ 調整後，巻き込んだｽﾌﾟﾘﾝｸﾞが戻らないように，抜いたピンを元位置の穴に奥まで挿入(S ｻｲｽﾞはネジ式)してください。(図 13 参照)

7. 戸先位置（召合せ位置）調整

① ドア閉時の戸先位置(召合せ位置)の調整を，上部固定金物の召合せ調整ボルト(六角ボルト S ｻｲｽﾞ:M8X25，L ｻｲｽﾞ:M8X30）の出し入れによって行ない，最後に付属のナットをしっかりと締めてください。(図 14 参照)

8. お手入れについて

① 清掃は水または中性洗剤を薄めた液で，やわらかい布またはスポンジを使って洗ってください。酸性またはアルカリ性の洗剤，揮発性の薬品類は腐食や変色を起こす可能性がありますので使用しないでください。

② サンドペーパーやワイヤーブラシ，スチールウール等を使わないでください。製品に疵がつきドアシートの透明性が悪くなる恐れがあります。

9. 使用上の注意

- 人，カート，フォークリフトが通過した直後にドアに近寄らないでください。戻ってきたドアシートが顔などに当たり思わぬ怪我や事故につながる恐れがあります。
- 危険ですので，ドアにぶら下がったり寄りかかったりしないでください。
- 安全のためフォークリフトで通過する際には最徐行してください。
- 通過による疵やオイル等の付着による汚れでドアシートの透明性が悪くなった場合には新しいシートに交換してください。衝突事故の原因となる恐れがあります。
- 怪我をする恐れがありますので，ドアフレームと枠との隙間に無理に指を入れないでください。

株式会社 スイング
埼玉県児玉郡美里町阿那志 519-1
TEL 0495(75)1616
FAX 0495(75)1615
E-mail info@swing-k.co.jp